

PCMテキスト(モニタリング・評価編) 改訂第7版

主な改訂箇所

No.	旧テキスト ページ	改訂前	新テキスト ページ	改訂した語句や文章
1	27	Box「PDMe作成の手順」	28	次頁に移動。
2	27	Box「PDMe作成の手順」	28	以下の内容に変更。 「1. PDM1・・・PDMnを並べ、各PDMについて、PDMのチェックポイントに基づき内容を確認し、以下の方法でPDMe案を作成する。 ①不明な点や疑問点を書き出す。 ②各PDMを比較し、各PDMの改訂理由、改訂手順を明らかにする。 ③不明な点や疑問点があれば、プロジェクト関係者から情報収集を行ってできるだけ明解にし、プロジェクトが目指していた内容をPDMe案として整理する。 2. プロジェクトが何をどのように目指していたのかが、PDMe案によつて的確に表されているかどうかについてプロジェクトチーム他主要な関係者と協議し、合意を得てPDMeとして確定する。」
3			28	「図8. PDMeの作成」を追加
4	31	本文1行目 “有効性は「プロジェクト目標」を「アウトプット」との関連で調べるので、「アウトプット」がどのように「プロジェクト目標」の達成に貢献したか」について確認します”	32	「「プロジェクト目標」が計画に照らしてどの程度達成されたか、それが「アウトプット」によつて引き起こされたか」に変更。
5	31	本文7行目 “PDMe作成時には、プロジェクト目標とアウトプットは指標を含めて明確にされますが、次のような場合は指標設定や調査に工夫が必要です。”	32	“プロジェクト目標とアウトプットの間を調べるには、以下のような注意が必要です”に変更。
6	32	有効性の評価設問 「有効性を判断するための評価設問は次のようなものを含みます。 ●プロジェクト目標の達成は、アウトプットによつて引き起こされたものか。 ●プロジェクト目標は、どの程度達成されたか(見込みはあるか)。 ●アウトプットは、それぞれどの程度達成されたか(見込みはあるか)。 ●外部条件は、プロジェクト目標にどのような影響を与えているか。」	33	●の1番目と2番目の順番を入れ替える。 3番目の●を削除する。 「●プロジェクト目標は、どの程度達成されたか(見込みはあるか)。 ●プロジェクト目標の達成は、アウトプットによつて引き起こされたものか。 ●外部条件は、プロジェクト目標にどのような影響を与えているか。」に変更。
7	33	「「投入」が質や量の面でどれだけ「アウトプット」に転換されたかを見ます。」	34	「効率性は、「アウトプット」が計画に照らしてどの程度達成されたか、そのために「投入」が質や量の面でどれだけ「アウトプット」に転換されたかを見ます。」に変更。
8	33	Box “プロジェクトメンバー2名+文具…”	34	・・・2名「×2ヶ月」+文具・・・
9	34	Box 3行目 ●被援助側・援助側からどのような投入が行われたか。	35	削除
10	35	本文4行目 “上位目標はプロジェクトの実施の…”	36	上位目標は「プロジェクト終了後、」プロジェクトの実施・・・
11	35	本文下から6行目 “プロジェクト「から」プロジェクトの外…”	36	「から」を「を実施することで引き起こされる」に変更。
12	35	図9の図内	36	「→伝統的農機具の衰退」を追加。

13	36	インパクトの評価設問 「インパクトを判断するための評価設問は次のようなものを含みます。 ●上位目標の達成は、プロジェクト目標達成の結果としてもたらされたものか。 ●上位目標はどの程度達成されたか(見込みはあるか)。 ●上位目標達成に外部条件はどのように影響しているか。 ●上位目標以外に、プロジェクトはどのような正負の変化をもたらしたか。」	37	●の1番目と2番目の順番を入れ替える。最後の●に「」の例を追加する。 「●上位目標はどの程度達成されたか(見込みはあるか)。 ●上位目標の達成は、プロジェクト目標達成の結果としてもたらされたものか。 ●上位目標達成に外部条件はどのように影響しているか。 ●上位目標以外「(国の政策や文化など)」に、プロジェクトはどのような正負の変化をもたらしたか。」
14	37	“5) 自立発展性”	38	自立発展性「/持続性」
15	39	自立発展性の評価設問 “自立発展性を判断するための評価設問は次のようなものを含みます。 ●プロジェクト目標や上位目標など、プロジェクトの目指してきた開発効果が協力終了後も持続する見込みはあるか。 ●プロジェクト目標「を」持続するために必要なアウトプットは維持されるか/外部条件は維持されるか。 ●アウトプットが維持されるために必要な活動は継続して行われるか/外部条件は維持されるか。”	40	2番目の●に「」を追加する。 3番目の●を追加する。 4番目の●に「」を追加する。 “●プロジェクト目標や上位目標など、プロジェクトの目指してきた開発効果が協力終了後も持続する見込みはあるか。 ●プロジェクト目標「で示された効果が」持続するために必要なアウトプットは維持されるか/外部条件は維持されるか。 ●上位目標で示された効果が持続するために必要な条件は維持されるか。 ●アウトプットが維持されるために必要な活動は継続して行われるか/外部条件「/必要な投入」は維持されるか。”
16	40	本文7行目 “「要因分析をする際は、PDMe の外部条件だけでなく、計画の立て方や軌道修正の適否に留意します。また、プロジェクト内部の要因にも留意します(関係者間のコミュニケーション、カウンターパートや実施機関のオーナーシップ、モニタリング体制の明確化・共有化等)。このように」要因分析…”	41	「要因分析をする際は、PDMe の外部条件だけでなく、計画の立て方や軌道修正の適否に留意します。また、プロジェクト内部の要因にも留意します(関係者間のコミュニケーション、カウンターパートや実施機関のオーナーシップ、モニタリング体制の明確化・共有化等)。このように」→削除
17	40	本文11行目 “適確に導くことが可能になります。”	41	…が可能になります。「評価調査では、評価設問だけを調査したのでは要因分析ができません。そのため、評価設問の回答となる情報を得た段階で、回答の内容に則して、その理由を問うような、第2、第3の設問や調査が
18	40	本文9行目 “「しかし、普及員の数が挙げられただけでは、インパクトの有無や、効率性の高さ・低さを判断することはできません。その他の情報、例えば普及員育成にかかる経費、普及員1人当たりの訪問農家数、普及員によって普及した技術などと組み合わせると初めて、インパクトや効率性としての結論が導かれるのです。経費や普及員数という情報は5項目の中の複数の設問に利用されることはありますが、」5項目の視点が…”	41	「効率性では、普及員育成にかかる費用や普及員1人当たりの農家訪問数を知るために普及員の数が活用されますが、インパクトでは、普及員によって普及した技術の影響範囲を知るために普及員数の情報が活用されます。このように、普及員数という情報は、5項目の中の複数の設問に利用されることはありますが、」に変更。
19	41	本文6行目 “調査にあたっては、関連する設問…”	42	あたっては、「得られる情報に偏りがなく、正しく現状を伝えているか確認するため」関連する設問…
20	41	本文下から1行目 “評価設問を選択していきます。”	42	…選択していきます「(STEP2-3参照)」。

21	62	Box内、＜要因分析のための設問＞ 「・バス公社のサービスの改善を通じた 公社バス利用者の増加を図る戦略は、B 国の公共交通分野における開発課題に 対し効果的であったか？」	62	削除
22	63	Box内、＜評価設問＞ 「①運行中のバス事故の減少(プロジェクト 目標の指標)は運転手のマナー向上 や運転管理能力向上、整備状況の改善 (アウトプットの指標)によって引き起こさ れたか？ ②所要時間の減少(プロジェクト目標の 指標)は運転手のマナー向上や運転管 理能力向上、整備状況の改善(アウト	63	「①運行中のバス事故の減少(プロジェクト 目標の指標)はどの程度達成されたか？ ②運行中のバス事故の減少(プロジェクト目 標の指標)は運転手のルール遵守向上や車 両の整備(アウトプットの目標)によって引き 起こされたか？」に変更。
23	63	Box内、＜必要なデータ＞ “①に関し 「・公社バスが関わった事故数 ・ベースラインデータ(確認)」”	63	「・公社バスが関わった事故数の変化」に変 更
24	63	Box内、＜必要なデータ＞ “②に関し 「・所要時間(日変化、月変化など) ・ベースラインデータ(確認) ・減少した運行時の運転手の能力・マ ナーの変化 ・バスの整備状況」”	63	「・公社バスが関わった事故数の変化 ・事故の原因 ・減少した運行時の運転手のルール遵守の 変化 ・定期整備を受けたバスの台数の変化 ・稼働バスの比率の変化」
25	64	Box内、＜評価設問＞ “①運転手のマナー向上「や運転管理能 力向上、整備状況の改善」(アウトプット の指標)”	64	「や運転管理能力向上、整備状況の改善」 →削除
26	64	Box内、＜必要なデータ＞ 「①に関し ・訓練教材の種類と数 ・訓練講師の質と数 ・訓練教材の利用状況 ②に関し ・遵守している運転手の数 ・遵守しているルール項目 ・運転ルール理解度試験に合格した運 転手の数」	64	「①に関し ・遵守している運転手の数 ・遵守しているルール項目 ・運転ルール理解度試験に合格した運転手 の数 ②に関し ・訓練教材の種類と数 ・訓練講師の質と人数 ・訓練教材の利用状況」に変更。
27	65	Box内、＜必要なデータ＞ “①に関し ・利用者数の推移(時間帯、期間別等) ・利用者層(男女、職業、年齢、経済的階 層等) 「・市民の公社バスに対する見方(乗る理 由、乗らない理由) ・公社の運賃値上げ幅」”	65	「・市民の公社バスに対する見方(乗る理 由、乗らない理由) ・公社の運賃値上げ幅」→削除
28	66	Box内、＜評価設問＞ “①(技術面)B国バス公社で運転・整 備・運行管理を指導する教官・監督官 は、一人立ちできる能力を身につけてい	66	続けて追加。 「今後もその能力を維持できるか？」
29	66	Box内、＜評価設問＞ “②(組織・体制面)訓練を受けた運転手 「、整備士、職員」は定着するか？”	66	「、整備士、職員」→削除
30	66	Box内、＜評価設問＞ 「③上記の評価設問に対する答が“No” であった場合、その状況が改善される見 込はどの程度あるか？」	66	「③(経済・財務面)バス公社は、機材設備の 更新のための費用を蓄えているか？今後も 確保できるか？」に変更。

31	66	Box内、＜必要なデータ＞ “①に関して 「・教官・監督官の数 ・教官・監督官の質 ・教官育成に関するプロジェクトの取り組み方 ・教官と日本人専門家のコミュニケーションの状況」”	66	「・教官の数 ・教官の質」に変更
32	66	Box内、＜必要なデータ＞	66	以下を追加 「③に関し ・機材設備の更新費 ・機材設備の積み立て額 ・今後の予算確保の見込みに関する情報」
33	73	提言の1番目の●の2-3行目 ”収支管理に努めるべきであるさらに、”	73	努めるべきである「。」さらに、

*本リストは主な改訂部分のみ記載しています。